国民年金のお知らせ

国民年金「後納制度」で将来の年金額を増やせます

「後納制度」は、過去10年間に納め忘れた保険料を納付することにより、将来の年金額を増やすことができるものです（過去2年以内の未納分は、後納制度を利用しなくても納付可能です）。

また、年金を受給できなかった方は、「後納制度」を利用することで年金受給資格を得られる場合があります。

過去10年以内に納め忘れの保険料がある方は、ぜひ「後納制度」をご利用ください。

（※後納保険料額は政令で定められ、毎年度改定されます。）

なお、「後納制度」が利用できる期限は**平成27年9月末まで**となっています。お早目にお申し込みください。

ご利用いただける方

①**20歳以上60歳未満の方**で、10年以内に納め忘れの期間（納付免除以外）や未加入期間がある方

②**60歳以上65歳未満の方**で、①の期間のほか任意加入中に納め忘れの期間がある方

③**65歳以上の方**で、年金受給資格がなく任意加入中の方など

※60歳以上で、老齢基礎年金を受け取っている方は申し込みできません。

国民年金保険料の「追納」をお勧めします

国民年金保険料の免除（全額免除・一部免除・法定免除）、若年者納付猶予、学生納付特例の承認を受けられた期間がある場合、保険料を全額納めた方と比べ、老齢基礎年金（65歳から受けられる年金）の受け取り額が少なくなります。

そこで、これらの期間の保険料は、将来受け取る老齢基礎年金を増額するために、**10年以内**であれば遡って古い月分から納める（「追納」）ことができます。

ただし、免除等の承認を受けられた期間の翌年度から起算して3年度目以降の追納の場合、当時の保険料額に一定の加算額が上乗せされますので、お早目の「追納」をお勧めします。

ご存知ですか?国民年金の「任意加入制度」

老齢基礎年金（65歳から受けられる年金）は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。

国民年金保険料の納め忘れなどにより、保険料の納付済期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して保険料を納めることにより、満額に近づけることができます。

また、老齢基礎年金を受けるためには保険料の納付済期間や保険料の免除期間等が原則として25年以上必要となりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入することができます（ただし、昭和40年4月1日以前に生まれた方に限られます）。

なお、**保険料納付方法は、口座振替**が原則となります。

■申込み・問合わせ先　八峰町町民生活課　☎76－4614
鷹巣年金事務所　☎0186－62－1490

連載 第49回 八峰白神ジオパーク　大高孝雄氏個展開催

「ブナ林の秋」
写真1

「荒波」
写真2

八峰白神ジオポイントと旅の風景

去る2月16日から21日まで標記の絵画展が東京都の銀座にある美術家連盟画廊で開催されました。48点の作品中、八峰白神ジオパークエリアの中から選ばれた絵が19点含まれています。当画廊担当者によると、こんなに充実した個展はめったにありません、と感心していたと聞きました。

画廊は6階にあり、エレベーターを出るとすぐ右側が会場の入り口で、その場から展示されている絵が目に飛び込んできます（写真1）。その絵は八峰町の留山が描かれており、初秋のブナ林が紅葉し始めた頃の風景が描です。あるご婦人が「まるで森の中にすい込まれていくよう！」とつぶやいていました。

実は、この絵は大高氏のアトリエで拝見していたのですが、こんなに迫力のある絵とは思ってもいませんでした。それには訳があるらしく、狭いアトリエで見ると絵筆が乱雑に走った様子ばかり目について、全体の構成を観る心がなかったものなのでしょう。

その時ふと頭をよぎった詩がありました。

畳十畳ほどの広さの中に
まるで別格の扱いを受けていた
にもかかわらず私は
その大きさに圧倒されるでもなく
ただ呆然と立ち尽くしてしまった
何と「雑」な描き方であろう
板の大きさの中に納めきれなかった絵筆の
その乱雑さに失望感が渦を巻いて
私は睡蓮の池の中に溶けてしまった。

（詩集　沈黙のブルー　山口敦子
「モネの睡蓮より」一部抜粋）※1

この「留山」の絵は八峰町の宝として展示、保管をしていきたいものです。

お客様と対談する大高氏

やがてご来場の方々が多くなってきて私は受け付けの仕事やらジオパークの解説やらで絵を鑑賞するどころではなくなってきました。それとはなしにお客さんたちの動きを見ていると長く立ち止まって見ている絵は数枚に限られている事に気づきました。それらの絵には決まって「水」が描かれているのです。中でもジオポイント35付近を描いた海の絵（写真2）はその筆頭に当たりましょう。ジュリコーの「嵐」※2に描かれた海を見た時の感動がよみがえってくるのです。

「水を描くのは難しい」と大高氏は言います。そして苦労を重ねて表現された水を観た人たちはその絵に惹きつけられます。これは普段人々が意識していないほど奥深い心の底に横たわっている何かが揺り動かされるからではないだろうか。

八峰白神ジオパークエリアは水と大地が接している場所に展開しています。そういう見方からすれば、当ジオパークは貴重な存在であり、人々が忘れかけた「心」をゆり動かす良い場所であるにちがいありません。

画廊のイベントを知らせる看板

※1　山口敦子・2007 詩集 沈黙のブルー 土曜美術社出版販売 52頁
※2　ルーブルとパリの美術V ジュリコー 嵐（または漂流者） 70頁

八峰白神ジオパーク推進協議会
会長　工藤英美
〒018-2612
秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116 旧岩館小学校内
TEL0185－78－2427